

1. 自己評価及び外部評価結果

作成日 令和1年11月20日

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4671400143
法人名	社会福祉法人 長和会
事業所名	恵光園グループホーム さくらの里
所在地	鹿児島県垂水市中央町37番地2 (電話) 0994(32)1881
自己評価作成日	令和 元年 8月16日

※事業所の基本情報は、WAMNETのホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	http://www.wam.go.jp/
-------------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	特定非営利活動法人NPOさつま
所在地	鹿児島市新屋敷町16番A棟3F302号
訪問調査日	令和元年11月15日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

母体施設に隣接した場所にあった当施設は平成28年9月の台風による河川氾濫による床上浸水被害を受けた。幸いにも人的被害はなかったものの、利用者様の安全、ご家族様の安心を最優先に考慮し本年6月に現在の場所に移転した。市街地に近く利便性は増したといえる。又、利用者様の生活環境という点においては静かな落ち着いた場所であり、近くには公園などの空間もあり散歩などにも最適な場所といえる。夏祭りや敬老会などを通じ、母体の特別養護老人ホームとの交流は継続している。地域密着型事業としての活動については昨年度より認知症カフェを定期的実施しており、現立地においてより効果的な実施にむけて行政や地域との連携を考えている。また、振興会と交流を図りながらこれから地域の施設としての活動にも力を入れていきたいと考えている。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

ホームは、平成28年の台風による河川氾濫の床上浸水被害を経験し、利用者の安心、安全性を図るため、本年6月に垂水市の中心地に新築移転しており、周辺には市役所や小学校、高校、大型商業施設、医療機関、個人住宅等が立ち並んでいる。幹線道路から少し入った場所に位置しているため騒音等は無く、静かで落ち着いた環境にある。地域密着型サービス事業所として地域住民への周知に努め、地域との日常的な交流が図られる関係が築かれつつあり、サロンの開設や地域のイベントへの参加、散歩時の会話、友人知人の来訪、ボランティアや施設見学の受け入れ等に積極的に取り組んでいる。今後、地域住民から寄せられる高齢者福祉に関する相談に応じたり、災害時の協力関係の構築など、更に充実を図っていく意向である。

管理者及び職員は理念に沿って、利用者が地域の中で、その人らしく生きがいのある暮らしの支援に努めており、誇りや尊厳を大切にしながら利用者の意欲や意思を尊重し、心身の状況に配慮した利用者主体のケアに取り組んでいる。利用者や家族からの意見や要望の把握にも努め、サービスの改善に取り組んでいる。

管理者及び職員は、日頃から気軽に意見が言い合える信頼と協力関係を構築しており、「マナー5原則」に沿って支援業務の中やスタッフ会議等で意見や要望を出し合い、必要に応じて個々の事情にも配慮しながら運営やサービスの質の向上に繋げている。管理者は日頃から業務に対する助言・指導を積極的に行い、スキルアップを図る研修の実施や勤務シフトに本人の意向を反映させるなど、職員の意欲の向上及び働きやすい職場環境の整備に努めている。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	毎月実施している全員参加のスタッフ会において運営方針・理念を唱和し、内容の再認識に努め施設内にも掲示している	利用者が地域と触れ合いながら、その人らしく生きがいのある生活ができるケアに取り組んでいる。理念は玄関等に掲示し、毎月のスタッフ会議で唱和して共有し、日々のケアの中やスタッフ会議、職員会議などで振り返りを実施しながら、理念に沿ったケアの実践に努めている。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	地域密着事業計画に沿うような形で様々な場面において地域の方々をお誘いしたり、認知症カフェの開催において交流に努めている	現在地に新築移転して6カ月が経過しており、この間地域自治会のイベントに参加したり、サロンの開設、見学者の受け入れ、散歩時の会話、農産物を頂くなど交流に努めている。今後は、専門性を活かした地域貢献や災害時の協力体制の構築等、さらに交流の充実を図る意向である。	
3		○事業所の力を生かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている	認知症カフェや相談にいらした方、ご家族に対してなど不安や問題解決に対して適切な支援ができるよう心掛けている		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	2か月に1回定期的を開催している運営推進会議において参加者が偏らないよう注意し、広く意見を頂けるようにし、より良いサービス提供に活かしている	会議は家族や利用者、地域住民（老人会会長）、市地域包括支援センター及び市役所の職員等関係者が参加して定期的に開催している。ホームや利用者の現況報告のほか、行事・ヒヤリハット、感染症、防災等について意見交換が行われ、業務の改善や日々のサービス向上に役立てている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	市担当者には運営推進会議への参加を依頼している。また、研修などにはできる限り参加し、情報収集や提供を行っている	市の担当者には運営推進会議に出席してもらい、情報や助言を得るとともに、介護認定の更新や各種の手続きや報告時、また必要に応じて随時連携を図っている。市や介護施設連絡協議会が主催する会合や研修会にも積極的に出席して意見交換や情報収集を行って改善に繋げている。	
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	年間研修計画の中にも身体拘束についての内容を盛り込み、職員には常に意識をしてサービス提供ができるようにしている。また、研修や講習会などへの参加も積極的におこなっている	身体拘束については運営規定に明記し、定期的に委員会を開催してケアの見直しや具体的事例による意見交換等を行い、また、身体拘束や高齢者虐待に関する研修も計画的に実施して職員の理解を深め、拘束のない適正な支援に取り組んでいる。昼間は施錠はしないで寄り添いや見守りにより状況の把握に努め、落ち着いた利用者には対話や散歩の同行など工夫して安定を図っている。不適切なことには日頃から注意しあって改善に努めている。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	グループホーム内での研修や母体が行う研修、また、関連した事例などがあつた場合には情報の共有を図りながらサービス提供が行えるように考慮している		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	研修や資料回覧などの機会をもちながら利用者様の権利が侵害されることがないように注意している		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	入居契約時に重要事項説明書に基づきながら説明をし、時間を掛けて内容を理解していただけるようにしている		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	利用者様やご家族が意見や要望など話しやすい雰囲気づくりや入居時の説明において外部機関への意見や苦情の相談先の紹介を実施している	日頃のケアの中での対話や表情、仕草等から利用者の想いの理解に努め、家族からの要望等は来訪時や電話での対話、お便りの送付、情報紙の発行等、気軽に意見等を述べて貰えるように工夫して把握している。出された意見等は業務日誌や連絡ノートで共有し、スタッフ会議で協議して運営やサービスの向上に取り組んでおり、家族にも対応状況は報告して理解を得ている。	
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	職員からの意見や提案に対して、しっかりと対応ができるよう、また、職員が運営に関しての意見を言いやすいよう情報提供も行っている	管理者は、日頃から職員とのコミュニケーションに努め、業務の中やスタッフ会議、個人面談等で意見等を把握し、個人的悩み等も聴取しており、出された要望等は協議して改善に取り組んでいる。スキルアップを図る研修の実施や日頃のケアや資格取得に対する助言、指導に努め、勤務シフトに職員の意向を反映させるなど、意欲の向上と働きやすい職場環境の整備に努めている	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	働きやすい職場環境にするためのマナー5原則を周知するなど健全な人間関係の構築に努めている。手当の増額をするなど随時、公平な処遇改善に努めている。65歳定年制であるものの、その後についても希望者全員が再雇用として就業可能である		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
13		<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>キャリアパス制度の導入により資格取得のための助成も行っている。OJT・OFF-JTへの参加も促進している</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>OFF-JTが交流の場であったり、交流会の切っ掛けとなっている。地域包括ケアシステムの枠組みの中で行政及び関係機関と意見交換を行っている</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
II.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	認知症対応型の事業所であるため入居時に利用者様本人よりの要望を把握することは困難な場合が多いが少しでも把握できるよう努めている		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	入所時又は入所前において話をする機会をもち、関係性を築きながらご家族が不安に感じていることに対して支援ができるよう努めている		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	入居当初、優先順位を見極め、確認をしながら対応できるようにしている		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	「一緒に生活をする人」という安心できる関係性が築けるような声掛け、態度で接することができるように心がけている		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	入居されていても利用者様の一番の支えはご家族様であることを考えながら、共に利用者様を支えることができるよう考えご家族様の思いも大事にしている		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	面会や手紙、宅配など馴染みの方との交流を大事にし、利用者様のこれまでの生活を尊重して支援にあたっている	利用者の生活歴や家庭環境等を把握し、馴染みに関する情報を共有している。家族や友人の来訪時にはゆっくり話せるように配慮し、利用者の希望に沿って買い物や一時帰宅、外食、冠婚葬祭への出席、墓参等を家族と連携して支援している。遠方の家族には近況を手紙や電話、情報紙等で伝え、電話や手紙の取り次ぎも行なうなど、関係の継続に努めている。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	それぞれの利用者様ごとの性格や性質、行動パターンを考慮し、利用者様もほかの利用者様の環境の一部であることを考慮しながら支援に努めている		
22		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	必要な時には必要な支援を適切に提供できるように努めている		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	利用者様個々のその人らしさを大事にしながら、しぐさや言葉、態度などからくみ取ることができるようにしている	利用者の思いや意向を日頃の会話や表情、仕草等で把握に努め、その人らしい生きがいのある暮らしとなるよう家族と連携して取り組んでいる。全員での活動に加え、利用者が希望する趣味や家事（食材の下処理、食後の片付け等）への取り組みを、心身の状況に配慮しながら個別支援に努めている。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活暦や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	利用者様との話やご家族からの情報で馴染みの環境や雰囲気を感じていただけるようにしている		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	毎日の勤務者からの報告や生活ノートによる記録などで情報の共有を図り、利用者様一人ひとりの個別の現状把握に努めている		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	家族とは面会時に話し合いの機会をもうけている。職員とは毎月のケースカンファで利用者一人一人の状態を職員全員で検討し、必要に応じて介護計画の見直しを行っている	本人や家族の意向や、主治医や看護師、関係者からの情報を共有し、モニタリングやカンファレンス等で意見交換を行い、利用者主体のきめ細かな介護計画を作成している。計画書の内容については利用者及び家族に丁寧に説明して理解を得ており、支援の状況は業務日誌やバイタルチェック表等に具体的に記録して共有を図っている。利用者や家族の状況の変化に応じて、計画の見直しや修正を適宜行って改善に努めている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	毎日の勤務者からの報告や生活ノートによる記録などで情報の共有を図り、利用者様一人ひとりの個別の現状把握に努め、必要時は計画変更している		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	利用者様はあくまでも”個”であるということを念頭におき、こうあらねばならない、というような捉え方をしないようにその利用者様の支援やサービス提供を考えている		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	入居されている方でもご家族と一緒に市の開催するカフェに参加できるような支援も行っている		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	入居されても入居前からのかかりつけ医を受診していただきながら定期受診時には情報提供をさせていただきながら継続した医療提供を支援している	各利用者の入所前の病歴や受診状況等を把握し、利用者や家族が希望する医療機関を主治医としており、家族と連携して受診を支援し訪問診療も実施されている。受診の状況や体調等は家族と密に連絡し合い、日頃から健康管理の徹底や協力医療機関との連携の体制も構築されて、利用者及び家族の安心に繋がっている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	<p>午前午後のバイタルサイン測定時や日常生活においての変化などについては職員間で情報を共有しながら重症化、重篤化する前の対処ができるように支援している</p>		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている</p>	<p>介護情報の早期の提供や相談員を通じての情報共有などで入院中においても継続的な支援提供がスムーズに行えるようにしている。ご家族との連絡もできるだけ行っている</p>		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	<p>内容的にご家族との関係性が重要となってくるが、利用者様は高齢であることから入居時から急変時の対応、グループホーム内で対応できること、できないことについて大まかに説明をするようにしている</p>	<p>重度化や終末期の対応については、利用開始時に説明して本人及び家族の理解を得ている。重度化した時点で主治医より病状が伝えられ、家族及び関係者で話し合い可能な限り希望に沿った支援体制で取り組んでおり、看護師が主となって年1～2件の看取りを遂行している。看取り終了後にはスタッフ会議等で振り返りや意見交換を行って、職員のスキルアップや不安感の軽減を図っている。</p>	
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	<p>急変時の対応や心肺蘇生など研修で実施しており、実技や座学で学習している</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>年2回の総合防災訓練を計画的に実施している。移転に伴い、現施設での安全かつ迅速な災害時の対応についてはしっかりと体制づくりをしていきたい</p>	<p>年2回夜間想定を含む通報、消火、避難等の防災訓練を実施している。過去に河川氾濫の被害を経験したこともあり、日頃から避難経路の確認やマスコミによる災害情報をもとに意見交換等を行うなど、防災への認識は高い。スプリンクラーや火災通報装置を設置し、懐中電灯、ラジオ等の整備や飲料水や食料品、介護用品をホーム及び法人本部で備蓄している。移転した現地の近隣住民との連携及び協力体制の構築に取り組んでいる。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	利用者様の人権を尊重し、年配者であるという尊敬の思いを忘れることなく、CS研修なども行っている	プライバシーの確保や個人情報保護についての研修を計画的に実施し、ケアの振り返り等で認識の共有を図っている。日頃から、利用者の誇りやプライバシーを損ねることのないよう配慮しており、排泄や入浴、衣服の着脱のケアに際しては言葉づかい等に特に留意している。居室やトイレ、浴室はプライバシー保護に配慮した構造で台帳類も事務室で適切に管理している。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	話をしやすい環境の提供やゆっくりとした時間が提供できるように支援している		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	業務に追われてしまうと施設側の都合で、ということになってしまうため業務内容を検討し利用者様の希望に添えるような支援を心がけている		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している	白髪染めに行きたい、洋服を買いにいきたいなどの希望や要望にお応えしたり、可能な方は入浴後の着替えをご自分で準備していただくように支援している		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	利用者様の残存能力や性格を考慮し食後の、お盆拭きやテーブル拭きをしていただき感謝の言葉を忘れずにお伝えしている	疾病に伴う食事の制限や形態、栄養バランス、嗜好、旬の食材等に配慮したメニューを、法人の管理栄養士の助言も得ながら給食委員会で作成しており、下ごしらえやテーブル拭き等は利用者も楽しみながら行っている。誕生日の希望食、おせちや敬老会クリスマス等の行事食、手作りのおやつ、外食、そば打ち、家族との会食など食事が楽しみなものとなるよう工夫している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事形態や量などは個々の状態を考慮し準備をしている。水分に関しては主治医と連携をとりながらしっかり摂っていただくようにしている		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の臭いや汚れが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後、口腔内の状態観察を兼ねて歯磨き、うがい、口腔清拭などを実施し、必要時歯科受診をしている		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	日中の排泄は可能な限りトイレに座っていただくようにしている。排泄のパターンに応じての誘導もしている	利用者の排泄パターンを把握し、昼間は可能な限りトイレでの排泄を支援している。利用者の身体状況や習慣等に配慮しながら介護用品やケアの方法を介護計画に反映させており、おむつ使用から布パンツに改善された事例もある。便秘予防については、植物繊維の多い食材や乳製品、水分摂取、運動量に配慮し、主治医とも連携して支援している。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	食物繊維やオリゴ糖、水分摂取などで自然な排便を目指し、状況においては定期的に排便がみられるように座薬などの使用を試みている		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している	利用者様のご希望の時間に自由に入浴していただくことはできていない。週3回の入浴時にゆっくりと入浴を楽しんでいただけるように配慮している	基本週3回の入浴を、利用者の状態に配慮しながら支援している。ゆっくりと気持ち良く楽しめるように入浴時間や温度、好みのシャンプー、同性介助等は利用者の意向に沿って柔軟に対応し、入浴後は水分の補給や皮膚疾患の処置を支援している。入浴をためらう利用者には、無理強いしないで声掛けや時間、介護者の交代等を工夫して、意欲を待つように努めている。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	日中にリハビリや生活リハなどを提供することで離床して過ごす時間を増やし、夜間よく休んでいただくようにしている		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	服薬に対しては介助で服用される方が多く確実に服用していただけるようにしている。副作用についても考慮しながら服用していただいている		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	グループホーム内で生活していただく中で家事のお手伝いができる方にはしていただく、リハビリの時に楽器演奏をしていただく、などの役割分担をしていただき、たのしみや自分のやれることを経験していただいている		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	あまりどこに行きたい、と希望を言われることはないが気候や天気などを配慮しながら園庭に出て花をみたり風を感じたりしていただけるような支援を心掛けています	利用者の健康状態や天候等に配慮し、意向を確認しながら園庭や近くの公園での散歩、中庭のベンチでの日光浴、ミニドライブ、買い物等の外出を日常的に支援している。家族との通院や墓参り、冠婚葬祭への出席、一時帰宅、外食等も行われて利用者の楽しみとなっている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>金銭管理については困難な方が多いため、ご家族に了承を得たうえで施設で管理をさせていた</p>		
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している</p>	<p>ご家族からの電話があった際には利用者様と話をさせていただいたり、はがきや手紙については利用者様がわかるような形で支援している</p>		
52	19	<p>○居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を取り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>気温や湿度などの配慮、五感に対して悪影響がないように配慮している。季節や生活感を感じていただけるように花や掲示物などの工夫をしている</p>	<p>建物全体に余裕ある広さが確保され廊下には天窓も設置されて明るく、清潔感に満ちている。広いリビングの一角に設けられた台所から調理の音や匂いが伝わり、随所に季節の花や絵画、利用者の作品等が飾られ、居心地良く過ごせるようにテーブルやテレビ、ソファ等が工夫して配置されている。室温や湿度や整理整頓等に細かに配慮されて、落ち着いて気持ちよく過ごせる環境になっている。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>利用者様には居室がそれぞれ完備されており、面会などの際には居室へ、リビングにおいてはほかの利用者様と自由に交流できるようにしている</p>		
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>入居時に利用者様の馴染みのものや着衣なども自宅で着慣れたもの、枕も使い慣れたものを持ってきていただいている。また、写真や手紙など居室に飾っていただけるようにしている</p>	<p>居室はフローリングに腰高窓の仕様で明るく余裕あるスペースとなっており、ベッドやエアコン、タンスが備えられ、利用者の意向を確認しながら整理整頓を日常的に支援している。家庭同様に落ち着いた暮らしとなるように、使い慣れたテレビや、家族写真、位牌、小物等を持ち込み、また、自身の作品も飾る等、その人らしい和やかな雰囲気の居室となっている。</p>	
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>	<p>廊下やトイレなどは十分な広さがある。手すりも随所に設置されている。洗面所も車いすでも使用できるよう高さも配慮している</p>		

V アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	<input type="radio"/>	1 ほぼ全ての利用者の
			2 利用者の2/3くらいの
			3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員と一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)		1 毎日ある
		<input type="radio"/>	2 数日に1回程度ある
			3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)		1 ほぼ全ての利用者が
		<input type="radio"/>	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)	<input type="radio"/>	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)		1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
		<input type="radio"/>	4 ほとんどいない

61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らしている。 (参考項目：28)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1 ほぼ全ての家族と
			2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1 ほぼ毎日のように
			2 数日に1回程度ある
			3 たまに
			4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	○	1 大いに増えている
			2 少しずつ増えている
			3 あまり増えていない
			4 全くいない

66	職員は，生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)		1 ほぼ全ての職員が
		<input checked="" type="radio"/>	2 職員の2/3くらいが
			3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て，利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	<input checked="" type="radio"/>	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て，利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	<input checked="" type="radio"/>	1 ほぼ全ての家族等が
			2 家族等の2/3くらいが
			3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない